



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月13日

上場会社名 センコーグループホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 9069 URL <https://www.senkogrouphd.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福田 泰久
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 広報・IR担当 (氏名) 吉村 伸三 TEL 03-6862-8842
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	641,867	10.1	28,936	14.0	28,371	10.6	16,076	6.1
2024年3月期第3四半期	582,786	13.1	25,382	16.5	25,647	14.7	15,152	1.4

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 19,106百万円 (△4.9%) 2024年3月期第3四半期 20,098百万円 (2.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	105.83	94.48
2024年3月期第3四半期	101.09	89.53

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第3四半期	723,059	239,315	29.4	1,245.54
2024年3月期	685,120	204,186	26.2	1,197.13

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 212,420百万円 2024年3月期 179,208百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	19.00	—	19.00	38.00
2025年3月期	—	23.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	23.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	860,000	10.5	35,800	19.7	35,000	14.7	19,300	21.0	127.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有
新規 1社 (社名) 株式会社オプラス、除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期3Q	175,692,457株	2024年3月期	157,070,496株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	5,146,843株	2024年3月期	7,372,422株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期3Q	151,905,669株	2024年3月期3Q	149,886,169株

2018年3月期第3四半期連結会計期間より、期末自己株式には、株式付与E S O P信託口の保有する当社株式 (2025年3月期3Q 795,512株、2024年3月期 805,545株) 及び役員報酬B I P信託口の保有する当社株式 (2025年3月期3Q 782,480株、2024年3月期 788,972株) を含めております。また、2023年3月期第4四半期連結会計期間より、期末自己株式には、従業員持株会支援信託E S O Pの保有する当社株式 (2025年3月期3Q 3,082,200株、2024年3月期 4,055,700株) を含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、【添付資料】4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・決算補足説明資料については、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更に関する注記)	9
(会計上の見積りの変更に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間(2024年4月1日～2024年12月31日 以下「当第3四半期」)における経済環境は、企業収益の改善やインバウンド需要の高まりなどを背景に、緩やかな回復基調にあると見られますが、アメリカの政策動向、為替相場の変動、中東地域をめぐる情勢、中国経済の減速、物価上昇による節約志向の高まりなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当第3四半期の連結業績は、以下のとおりです。

(百万円)

	前第3四半期	当第3四半期	増減額	増減率
営業収益	582,786	641,867	59,080	10.1%
営業利益	25,382	28,936	3,553	14.0%
経常利益	25,647	28,371	2,723	10.6%
親会社株主に帰属する四半期純利益	15,152	16,076	924	6.1%

継続的な物価・人件費等のコスト上昇など、不安定な事業環境が継続しておりますが、拡販ならびに料金・価格改定などにグループ全体で取り組むと共に、M&Aの収益寄与があったことなどにより、営業収益、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益ともに前年同期を上回る結果となりました。

当第3四半期のセグメント別の状況は以下のとおりです。

(物流事業)

(百万円)

	前第3四半期	当第3四半期	増減額	増減率
営業収益	372,374	413,104	40,730	10.9%
セグメント利益	21,616	26,289	4,673	21.6%

拡販ならびに料金改定に取り組むと共に、M&Aの収益寄与があったことなどにより、営業収益は4,131億4百万円と対前年同期比407億30百万円の増収、セグメント利益は262億89百万円と対前年同期比46億73百万円の増益となりました。

(商事・貿易事業)

(百万円)

	前第3四半期	当第3四半期	増減額	増減率
営業収益	127,454	133,440	5,986	4.7%
セグメント利益	1,882	2,273	390	20.8%

仕入価格の上昇影響などがありましたでしたが、拡販ならびに価格改定に取り組むと共に、M&Aの収益寄与があったことなどにより、営業収益は1,334億40百万円と対前年同期比59億86百万円の増収、セグメント利益は22億73百万円と対前年同期比3億90百万円の増益となりました。

(ライフサポート事業)

(百万円)

	前第3四半期	当第3四半期	増減額	増減率
営業収益	35,361	46,868	11,506	32.5%
セグメント利益	996	1,129	133	13.4%

M&Aの収益寄与ならびに、新規出店効果などによる利用者数・来店者数の増加影響などにより、営業収益は468億68百万円と対前年同期比115億6百万円の増収、セグメント利益は11億29百万円と対前年同期比1億33百万円の増益となりました。

(ビジネスサポート事業)

(百万円)

	前第3四半期	当第3四半期	増減額	増減率
営業収益	10,362	11,263	900	8.7%
セグメント利益	1,610	2,094	483	30.1%

拡販ならびにホテル事業の回復などに努めたこと、M&Aの収益寄与があったことなどにより、営業収益は112億63百万円と対前年同期比9億円の増収、セグメント利益は20億94百万円と対前年同期比4億83百万円の増益となりました。

(プロダクト事業)

(百万円)

	前第3四半期	当第3四半期	増減額	増減率
営業収益	36,932	36,850	△82	△0.2%
セグメント利益	816	373	△442	△54.2%

物価上昇による節約志向の高まりなどにより販売数量が減少、原料仕入価格の上昇影響などを受け価格改定を進めたものの、営業収益は368億50百万円と対前年同期比82百万円の減収、セグメント利益は3億73百万円と対前年同期比4億42百万円の減益となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、7,230億59百万円となり、前期末に比べ379億38百万円増加いたしました。

流動資産は、2,469億44百万円となり、前期末に比べ70億77百万円増加いたしました。これは、現金及び預金が33億82百万円、その他流動資産が18億21百万円減少したものの、受取手形、営業未収入金及び契約資産が99億72百万円増加したことなどによるものです。

固定資産は、4,760億7百万円となり、前期末に比べ307億53百万円増加いたしました。これは、有形固定資産が277億90百万円、無形固定資産が10億39百万円、投資その他の資産が19億23百万円増加したことなどによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、4,837億43百万円となり、前期末に比べ28億9百万円増加いたしました。

流動負債は、1,940億11百万円となり、前期末に比べ221億71百万円減少いたしました。これは、支払手形及び営業未払金が60億92百万円、1年内償還予定の社債が100億円増加したものの、電子記録債務が24億50百万円、1年内償還予定の転換社債型新株予約権

付社債が220億26百万円、短期借入金が86億37百万円、未払法人税等が26億25百万円、賞与引当金が32億12百万円減少したことなどによるものです。

固定負債は、2,897億32百万円となり、前期末に比べ249億81百万円増加いたしました。これは、社債が100億円、長期借入金が141億86百万円増加したことなどによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、2,393億15百万円となり、前期末に比べ351億28百万円増加いたしました。これは、転換社債型新株予約権付社債の株式への転換などにより資本金が110億3百万円、資本剰余金が106億69百万円増加したことに加え、利益剰余金が81億88百万円、自己株式が23億9百万円、為替換算調整勘定が15億円、非支配株主持分が19億26百万円増加したことなどによるものです。自己資本比率は前期末から3.2ポイント上昇し、29.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年11月11日の「2025年3月期第2四半期(中間期)決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想と変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	81,637	78,254
受取手形、営業未収入金及び契約資産	110,742	120,714
電子記録債権	5,417	5,929
商品及び製品	19,231	20,557
仕掛品	780	1,010
原材料及び貯蔵品	3,060	3,301
その他	19,081	17,259
貸倒引当金	△83	△84
流動資産合計	239,866	246,944
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	118,947	134,819
土地	124,096	132,191
その他(純額)	87,750	91,575
有形固定資産合計	330,795	358,585
無形固定資産		
のれん	24,079	23,965
その他	14,330	15,483
無形固定資産合計	38,409	39,449
投資その他の資産		
投資有価証券	22,276	22,547
長期貸付金	669	644
退職給付に係る資産	17,907	18,679
差入保証金	18,566	19,533
繰延税金資産	5,914	5,095
その他	11,613	12,396
貸倒引当金	△899	△923
投資その他の資産合計	76,048	77,972
固定資産合計	445,254	476,007
繰延資産		
開業費	—	107
繰延資産合計	—	107
資産合計	685,120	723,059

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	60,478	66,571
電子記録債務	11,650	9,199
1年内償還予定の社債	—	10,000
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	22,026	—
短期借入金	53,448	44,810
リース債務	9,907	10,152
未払法人税等	7,733	5,108
賞与引当金	8,605	5,392
役員賞与引当金	423	336
災害損失引当金	48	3
その他	41,860	42,435
流動負債合計	216,183	194,011
固定負債		
社債	40,000	50,000
長期借入金	161,716	175,902
リース債務	33,815	33,253
役員退職慰労引当金	480	977
特別修繕引当金	255	336
株式給付引当金	363	349
退職給付に係る負債	8,741	9,250
資産除去債務	2,987	3,143
繰延税金負債	10,677	10,599
その他	5,714	5,918
固定負債合計	264,750	289,732
負債合計	480,934	483,743
純資産の部		
株主資本		
資本金	28,479	39,483
資本剰余金	31,283	41,953
利益剰余金	112,317	120,505
自己株式	△7,421	△5,111
株主資本合計	164,659	196,830
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,995	2,979
繰延ヘッジ損益	88	68
為替換算調整勘定	5,256	6,757
退職給付に係る調整累計額	6,207	5,785
その他の包括利益累計額合計	14,548	15,590
新株予約権	351	341
非支配株主持分	24,627	26,553
純資産合計	204,186	239,315
負債純資産合計	685,120	723,059

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
営業収益	582,786	641,867
営業原価	490,685	538,725
営業総利益	92,101	103,141
販売費及び一般管理費	66,718	74,205
営業利益	25,382	28,936
営業外収益		
受取利息	172	277
受取配当金	223	260
為替差益	310	—
その他	1,881	1,867
営業外収益合計	2,587	2,404
営業外費用		
支払利息	1,666	2,292
その他	656	677
営業外費用合計	2,322	2,969
経常利益	25,647	28,371
特別利益		
負ののれん発生益	—	1,111
補助金収入	92	720
固定資産売却益	188	416
投資有価証券売却益	288	45
資産除去債務戻入益	—	40
受取補償金	246	—
保険解約返戻金	84	—
特別利益合計	900	2,333
特別損失		
減損損失	—	1,538
固定資産圧縮損	139	620
事業所撤退損	—	303
固定資産除却損	107	224
固定資産売却損	—	36
支払補償金	320	—
事業撤退損	287	—
関係会社株式売却損	143	—
創立記念関連費用	75	—
特別損失合計	1,074	2,722
税金等調整前四半期純利益	25,474	27,982
法人税、住民税及び事業税	7,360	10,082
法人税等調整額	1,652	278
法人税等合計	9,013	10,360
四半期純利益	16,460	17,621
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,308	1,545
親会社株主に帰属する四半期純利益	15,152	16,076

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	16,460	17,621
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	656	△53
繰延ヘッジ損益	△87	△28
為替換算調整勘定	2,380	1,664
退職給付に係る調整額	△32	△396
持分法適用会社に対する持分相当額	719	298
その他の包括利益合計	3,637	1,484
四半期包括利益	20,098	19,106
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	18,189	17,117
非支配株主に係る四半期包括利益	1,909	1,988

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間において、転換社債型新株予約権付社債の転換に伴い、資本金及び資本剰余金がそれぞれ11,003百万円増加しております。この結果により、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が39,483百万円、資本剰余金が41,953百万円となっております。

(会計方針の変更に関する注記)

(法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 2022年10月28日)及び、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日)を第1四半期連結会計期間の期首から適用しています。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

「グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第46号 2024年3月22日)を第1四半期連結会計期間の期首から適用しています。なお、当該実務対応報告第7項を適用しているため、当第3四半期連結財務諸表においては、グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等を計上していません。

(会計上の見積りの変更に関する注記)

(退職給付に係る会計処理の数理計算上の差異の費用処理年数の変更)

退職給付に係る会計処理の数理計算上の差異の費用処理年数について、従来、従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(主として9年)で費用処理しておりましたが、平均残存勤務期間がこれを下回ったため、第1四半期連結会計期間より費用処理年数を主として8年に変更しております。

この変更に伴い、従来、費用処理年数によった場合と比較し、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ199百万円増加しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	19,296百万円	22,022百万円
のれんの償却額	1,100	2,040

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	物流事業	商事・貿易 事業	ライフ サポート 事業	ビジネス サポート 事業	プロダクト 事業	計		
営業収益								
外部顧客への営業収益	372,374	127,454	35,361	10,362	36,932	582,486	300	582,786
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	3,296	11,325	116	6,025	25	20,789	△20,789	—
計	375,670	138,780	35,477	16,388	36,958	603,275	△20,489	582,786
セグメント利益	21,616	1,882	996	1,610	816	26,922	△1,539	25,382

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への営業収益は、持株会社である当社で計上したものであります。

(2) セグメント利益の調整額△1,539百万円は、セグメント間取引消去24百万円及び各報告セグメントに帰属しない全社費用△1,564百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「ライフサポート事業」セグメントにおいて、株式会社SERIOホールディングスの株式を新たに取得したことにより、連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては893百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	商事・貿易 事業	ライフ サポート 事業	ビジネス サポート 事業	プロダクト 事業	計		
営業収益								
外部顧客への営業収益	413,104	133,440	46,868	11,263	36,850	641,527	339	641,867
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	3,563	12,020	159	7,184	21	22,948	△22,948	—
計	416,668	145,460	47,027	18,447	36,871	664,476	△22,608	641,867
セグメント利益	26,289	2,273	1,129	2,094	373	32,161	△3,225	28,936

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への営業収益は、持株会社である当社で計上したものであります。

(2) セグメント利益の調整額△3,225百万円は、セグメント間取引消去△25百万円及び各報告セグメントに帰属しない全社費用△3,199百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「商事・貿易事業」セグメント及び「ライフサポート事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において、「商事・貿易事業」セグメントで1,218百万円、「ライフサポート事業」セグメントで319百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「商事・貿易事業」セグメント及び「ライフサポート事業」セグメントにおいて、のれんの減損損失を計上したため、のれんの金額が減少しております。当該事象によるのれんの減少額は、当第3四半期連結累計期間において、「商事・貿易事業」セグメントで958百万円、「ライフサポート事業」セグメントで319百万円であります。

なお、上記(固定資産に係る重要な減損損失)に当該のれんの減損も含めて記載しております。